

FA05(開き戸自動ドア)取り付けマニュアル

株式会社ファースト・レイズ

準備

自動化予定ドアの確認



1. ドアクローザー(ドアチェッカー)は外します。
2. ドアノブと連動するラッチ(ドアノブをまわすと引っ込むかんぬき)があるドアでは使用できません。ラッチ=かんぬきが飛び出ないようにしてください。
3. ドアがスムーズに開閉しないドアは修理してから自動ドア化します

製品を施工する準備をする



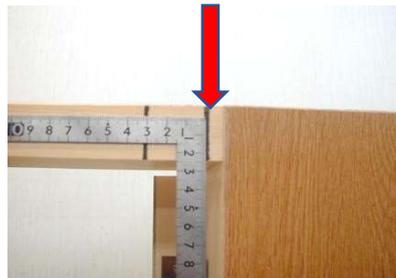
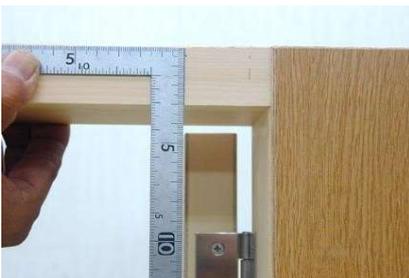
輸送時故障防止のため、ドアと接続するアームを分解して出荷しております。施工前にアームを本体に組付けてください。

1. 本体カバー上部のビスを二点外します(安定して作業するため)
2. 裏返して下部にあるアームカバーのビス(一点)を外し、カバー台座と共締めされているネジ4本(M5×14)を一度外します。
3. アームとカバー台座を本体にビス4本で共締め固定します。

アームを固定するビスは電動ドライバー等で必ず増し締めしてください。強く締め、がたつきがないことが大切です。(写真はわかりやすく、アームカバー台座を共締めしていません)

施工編

① 設置位置の決定(横方向)



扉を直角に開き、扉の厚みをはかります。

扉の厚みから、30 mmてまえにFA05 本体ベースの端がくるようにマークします

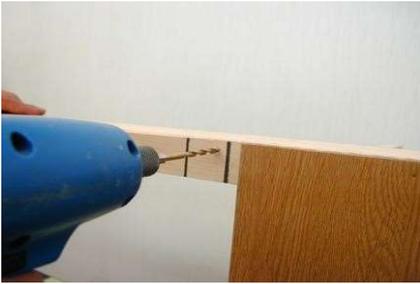
② 設置位置の決定(縦方向)



- 1.本体のカバーをとめるビス4点をすべて外します。
- 2.アームの先端にあるL字金具を開いたドアに仮あわせし、ドア枠に干渉しないことを確認したら、扉を閉じ、①のマーク位置に本体ベース端を合わせます。

ベースには縦横3×3の取り付け穴があいております。施工しやすい穴を3つ使用します。マークしてください。

③ 本体を付属ビスでドア枠に施工する



φ 3, 5mmの下穴をあけたのち、ドア枠か壁に本体をビス3点にて固定します。

必ずビスがきく状態にしてください。落下等、重大な事故につながります。

④ アームの位置を決め、ドアにビスで固定する



1.扉を閉じ、アームを一番短くした状態から20mmほど伸ばしたときのL字金具の位置をドアにマークします。

2.次に、扉を直角に開き、アームを伸ばして、1のマークと同じ場所に来ることを確認します。

3.手でL字金具を固定し、アームの動きを確認ください。アームがのびきって直角まで動かない。上枠にあたる、ゆらゆらと動く(水平でない)などは、故障や不具合の原因となります。

4.問題なければ、付属のビス4点でドアに固定してください。



⑤ 吸着マグネットの取付



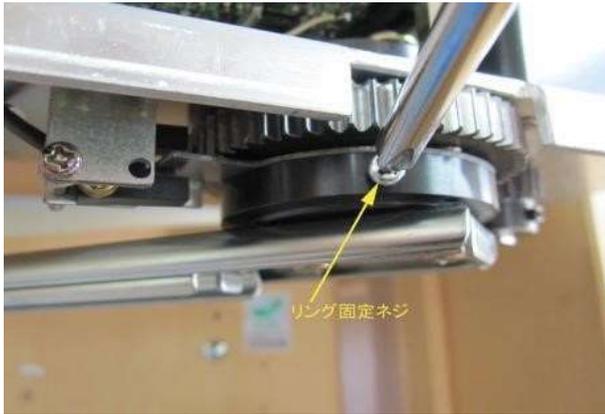
扉が閉位置で固定されるようにマグネットで吸引して固定します。扉が閉まった状態で吸着マグネットと鉄板の距離が=7~10mmになるようにそれぞれネジ止め固定します。

完全に吸着しないようにします

注記:電磁鍵の場合は別途つなぎ込み図、取付図に従います。

設定編

① ドア閉位置(基準位置)の設定



1. ドアを閉めた状態で、センサーリング固定ネジをゆるめ、扉を閉めた状態でセンサーリングをまわします。

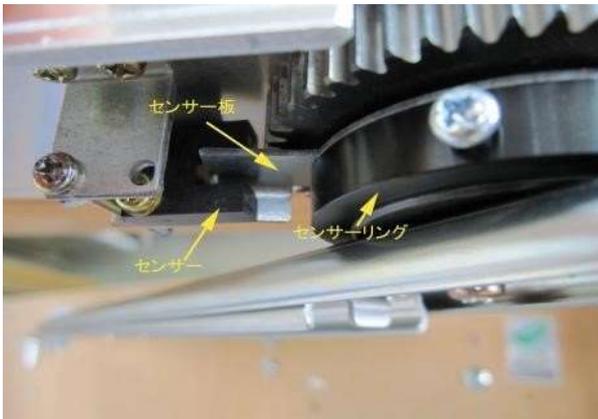
2. センサー板をセンサーに当たる位置(それ以上動かない位置)までうごかし、再度ネジを固定します。

3. 電源を入れます。端子タイプは直結とし、プラグタイプは AC100V コンセントへ差し込み、本体下部にある電源スイッチを on にします。

4. 電源投入後、ドアが半分ひらき、再度閉まります。この閉まり切ったときの状態を「閉位置」といい、FA05 がドアを開閉するときの基準位置となります。

位置が、ドア枠でぴったりとまり、隙間がなければ設定完了です。

開定



② ドア閉位置を微調整する

ドアが手前でとまってしまふ、ドア枠に強くあたり、もう一度開いてしまうときは**微調整が必要です**。



1. センサー固定ネジをゆるめます。

2. 微調整ネジをまわして、センサーを動かします。

時計方向: ドアをより閉じる方向に微調整します(隙間があいているとき)

反時計方向: ドアをより開く方向に微調整します(ドア枠にあたってしまうとき)

最適な 開位置(強く当たらずに 閉まって停止する位置)に調整できるまで、電源を入れる→ドアが閉まる→微調整ネジをまわすを繰り返します。

調整が終わったら センサー固定ネジでセンサーリングを固定して下さい。

③ ドア開位置の決定



1. ディップスイッチ DGSW1(写真参照)の 2 番を ON(読み込みモード)にし、電源投入。
2. ゆっくりとドアが開くので、任意の位置で赤いスイッチ(SW1)をおしてください。停止し、引き返します。

開く角度は、必ず直角より手前(90°)以下としてください。また、ドアを壁にぶつけるまえに必ずスイッチを押し、停止してください。

3. ディップスイッチ DGSW1 の 2 番を OFF とします。

設定をやりなおす場合

ディップスイッチ 2 を On にし、電源を入れなおせば、何度でも設定可能です。

動作の確認

端子台タイプはセンサー線の短絡、標準タイプはタッチスイッチで動作が確認してください。

④ 安全装置の調整

FA05 には人や物に衝突、はさみこみ防止の安全装置が標準で搭載されています。

1. 開く、閉じるときにドアに人、モノが接触すると、その場で停止するか、一度大きく開きます。2 秒経過後、再度動き出します。
2. 上記の接触動作が連続5回くり返された場合は「ドアに異常がある」として、エラー音とともに、停止。電源を入り切りすると、復帰します。

3. 安全装置の感度調整



感度調整ボリュームVR3によって調整します。時計方向に回すと感度はあがり、反時計で鈍くになります。

【重要】感度調整は安全のため、必ず行ってください。ドアのくせや運用状況におうじた適切な設定が大事です。

感度が敏感すぎると、振動などでも自動ドアは停止する問題がありますが、鈍感すぎると、人が挟まれたときに停止せず、重大な怪我や、製品故障の原因となります。

すべての調整完了後カバーを再度とりつければ施工完了です